

## 医療労務管理支援事業

### 医療勤務環境改善研修会 「労働時間管理の工夫について」

近年、医療従事者の確保・定着のためには、医療の専門職として着実にキャリア形成ができ、相互理解のもとで勤務できる働きやすい環境づくりが必要不可欠になってきております。その環境づくりの推進をはかるため、京都府医療勤務環境改善支援センター、京都労働局、公益社団法人京都府看護協会の共催により、医療勤務環境改善研修会「労働時間管理の工夫について」をテーマに研修会を開催いたしました。

今回、北部地域研修会として、平成29年7月24日（月）、市民交流プラザふくちやまにて、81名の参加者を得て開催いたしました。

講演は、①基調講演、②事例発表、③シンポジウムの3部構成にて行いました。



大久保清子氏



はじめに、京都私立病院協会 事務長会常任委員会委員・京都ルネス病院事務長の山口浩二氏より開会挨拶があり、基調講演は、講師に大久保清子氏（福井県立大学看護福祉学部研究科教授学部長）をお招きし「労働時間の管理と工夫」をテーマにご講演いただきました。在籍しておられた施設の理念は、「患者さんの立場で考える」というシンプルなものでした。働きがいのある職場づくりのために、人材を活用することで、環境の整備・人材育成・モチベーションの向上に努め、職員の満足度を高めることによって、患者の満足度向上に繋がったと事例が報告されました。また、看護配置についても多様な勤務を導入することで、病院としても看護量や看護力を充実させることができ、個々の事情に合わせて勤務できることで、職員のやる気も向上するとのことでした。事例発表では、看護配置に2交代制を取り入れている舞鶴共済病院（木下直美看護部長）、3交代制を取り入れている京都協立病院（福林則子看護部長）の2病院より、それぞれの施設での取り組み状況について発表を行っていただきました。院内の交代制勤務における職員満足度調査の実施により職員の意見を吸い上げ、改善を行ったことや夜勤を行う職員への特別な休暇による支援や子育て中の職員への支援等について報告がありました。次に、シンポジウムでは、基調講演講師の大久保氏が座長となり、事例発表を行った2病院の発表者を交えて、「労働時間管理の工夫についての取り組み」をテーマに意見交換を行いました。最後に京都府看護協会専務理事の中島すま子氏より閉会挨拶がありました。全体を通じて、大久保氏の講演・事例発表・シンポジウムと参加者にとって参考になる事例が多数挙げられ、有意義な講演となりました。

（事務局）